

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 星野 充孝	電話番号	0852-22-5195
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	河川管理事業		
目的	(1) 対象	河川流域住民	
	(2) 意図	治水、利水上における河川の適正管理の一環として、河川の適正利用の推進及び愛護意識の向上を図る。	
事業概要	適正な河川利用や流水の正常な機能維持を図るための河川占用許可等における申請者への適切な指導、出水時に操作が必要な水門等河川管理施設を適正に操作するための点検、河川巡視を効率的に実施するために必要な許可工作物・水利権に関する台帳整備、河川等愛護活動を活性化するための河川愛護団体に対する支援等を行う。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 河川愛護活動登録団体数	目標値		650.0	660.0	670.0	680.0	団体数
		取組目標値						
	式・定義 河川愛護活動登録団体数	実績値	638.0	652.0				
		達成率	-	100.4	-	-	-	%
2	指標名 河川愛護活動実施延べ人数	目標値		15,500.0	16,000.0	16,500.0	17,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 河川愛護活動実施延べ人数	実績値	15,132.0	13,676.0				
		達成率	-	88.3	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	99,109	109,870
うち一般財源 (千円)	43,820	42,715

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

島根県が管理する河川は、601河川の延長2,690.8kmで、そのうち重要水防区域(32河川：延長351km)、危険箇所(227箇所：182km)については、重点的に河川等巡視点検を実施する必要がある。  
また、樋門等の河川管理施設の定期的な点検による適切な維持管理が必要。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・H26年度から、今まで不定期だった樋門等の河川管理施設の点検を毎年実施。
- ・河川の定期的なパトロールを行っている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・近年、予測不可能な局地的なゲリラ豪雨が発生するため、災害を未然に防ぐ又は被災を軽減するためには、危険箇所の把握は必要不可欠であるが、全ての河川において十分な巡視・点検が実施できていない現状である。
- ・河川愛護活動登録団体数は増加しているが、河川愛護活動実施延べ人数は減少傾向にある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・県が管理する河川は、601河川の延長2,690.8kmで、そのうち重要水防区域(32河川：延長351km)、危険箇所(227箇所：182km)については、重点的に河川等巡視点検を実施する必要があり、限られた予算、人員での効率的な河川等巡視点検に努めているが、全ての河川において十分な巡視・点検が実施できていない現状である。
- ・河川愛護活動実施団体の構成員の高齢化等により、活動人員を維持していくことが難しくなっている団体の増加が考えられる。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・平成25年度からは嘱託員を配置し、点検及び危険箇所の把握を行っているが、十分な体制とはなっていないため充実する必要がある。
- ・河川愛護活動実施団体の活動人員を維持していくために、新たな参加者を増やしていく必要がある。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・巡視点検の強化を図るため、今年度も引き続き巡視員(嘱託員)により、点検を実施する。
- ・近年、予測不可能な局地的なゲリラ豪雨が発生するため、災害を未然に防ぐ又は被災を軽減するためには、危険箇所の把握は必要不可欠であるので、台帳の整備等を通じて効率的な河川等巡視点検を行い、危険箇所の把握に努める。
- ・河川愛護団体に対する支援制度についてホームページやパンフレット等により積極的に周知することによって、新たな参加者を募ることに努める。